

社会実験で実施するサービスの概要

ドライバーから見えないカーブの先の渋滞や停止・低速車両は、追突事故等の原因となりうる危険なものです。今回の実験は、半径 88m の急カーブである首都高速道路 4 号新宿線（上り）参宮橋カーブ区間を対象に、以下のような安全走行支援サービスを試み、追突事故やヒヤリ・ハットなどの削減を目指すものです。

- ・ 参宮橋カーブ区間で発生する渋滞や停止・低速車両をセンサーがリアルタイムに検知し、その情報を後続の車両の 3 メディア VICS 対応カーナビに、カーブの手前約 300m の地点で、VICS ビーコンから送信します。
- ・ 情報を受信したカーナビは、喚起音とともに簡易図形により「この先渋滞、注意」の情報をドライバーに提供します。
- ・ 「この先渋滞、注意」の表示が出た際には、カーブ先の渋滞や停止・低速車両が存在していますので、前方に注意して走行して下さい。



社会実験箇所：首都高速道路 4 号新宿線（上り）



社会実験でのサービスの概要